

## 28. 新生児科（選択）

### 1. 一般目標（G I O）

将来の専門性にかかわらず、新生児の診療に必要な基本的診療能力を身につけ、人格を涵養するのを目的とする。

### 2. 具体的目標（S B O s）

（1）産科病棟新生児室において健常新生児への対応ができる。

- ① 新生児の生理学的特徴を理解する。
- ② 家族背景、妊娠分娩歴を収集して情報を整理できる。
- ③ 分娩に立ち合い、新生児の蘇生を実施する。
- ④ 新生児の診察法を学び実践する。
- ⑤ 出生直後の呼吸障害、低血糖、黄疸への対応ができる。
- ⑥ 入院を要する病的新生児の抽出ができる。

（2）NICU・GCUにおいて軽症～中等症の病的新生児への対応ができる。

① 代表的な新生児疾患の病態を理解し、担当医として診察、検査、治療を行う。

＜経験するのが望ましい疾患＞

早産児、低出生体重児、新生児一過性多呼吸、新生児呼吸窮迫症候群、新生児黄疸、新生児低血糖、無呼吸発作、合併症を有する母体から出生した新生児、新生児仮死、染色体異常、小児外科疾患、気道疾患

② 新生児に対する基本的な手技を経験する。

＜経験するのが望ましい手技＞

足底採血、末梢静脈路確保、動脈ライン採血、気管挿管、用手換気（フェイスマスク・挿管）、超音波検査（大泉門、心臓、腹部）、レントゲン撮影介助

＜見学あるいは参加するのが望ましい手技＞

臍動静脈路確保、末梢動脈路確保、人工肺サーファクタント気管内注入、PIカテーテル確保、導尿・膀胱バルーン留置、胸腔穿刺、髄膜穿刺、喉頭気管気管支鏡検査

③ NICU・GCUで使用する医療機器について理解する。

保育器（閉鎖式・開放式）、新生児用ベッド（コット）、人工呼吸器（侵襲・非侵襲）、High flow nasal canula、光線治療器、一酸化窒素吸入療法装置

（3）保護者（父母等）と良好な人間関係を確立し、母児愛着形成を促し、新生児が家族の一員として受け入れられ安全な生活を開始するための支援をする。

- ① 家族背景、妊娠分娩歴を把握する。
- ② 治療・管理に関する保護者の望み、思いを聞き取る。
- ③ 適切なタイミング・方法で保護者へ病状説明を行い、インフォームド・コンセントを得る。
- ④ ディベロップメンタル・ケアについて理解する。
- ⑤ 育児手技について理解する。

(4) チーム医療を実践する。

- ① 医師、看護師、検査技師、その他コメディカルなど、新生児医療に関するすべてのスタッフと良好な関係を構築する。
- ② 上級医と共同して診療にあたる。
- ③ カンファレンス、回診等でプレゼンテーションができる。
- ④ 適切な方法で情報を共有する。

(5) 地域における周産期医療の意義を理解する。

- ① 千葉県および東葛北部の周産期医療資源について理解する。
- ② 母体搬送、新生児搬送の適応を知る。
- ③ 他施設からの新生児搬送に対応する。
- ④ 地域の一時的施設への back transfer の適応を理解する。

### 3. 方略

(1) OJT (On the job training)

病棟業務、産科病棟新生児室（健常新生児）回診、分娩立ち合い、フォローアップ外来見学

(2) カンファレンス、回診

病棟カンファレンス 平日 12:30 頃～

周産期カンファレンス 月曜日 8:00～

PN（小児・新生児）カンファレンス 月1回 第2火曜日

MSWカンファレンス・病棟全体カンファレンス 金曜日 13:30～

(3) 日本版新生児蘇生法（NCP R）

NCP Rを適宜開催しており希望があれば受講可能

A認定者におけるインストラクター補助については応相談

#### <週間スケジュール>

	月	火	水	木	金	土・日				
8:00～	周産期カンファ	/				当直体制				
8:30～	朝カンファ（当直申し送り）									
9:00～	病棟業務・新生児室診察・フォローアップ外来見学									
12:30～	全体回診									
13:00～	病棟業務・フォローアップ外来見学									
16:30～	患者申し送り									

### 4. 評価

PG-EPOC を用いて総括的評価を行う。